

米軍横田基地監視レポート

by 羽村平和委員会 2023年3月

YOKOTAJOHOのブログ その2 2020年～
yokotajohoのブログ 2010年～2019年

F-35B 最新鋭ステルス戦闘機が連日飛行訓練

在日米海兵隊岩国基地の最新鋭ステルス戦闘機F-35Bが4機3月10日飛来し、12日まで連日飛行訓練をしました。3月24日も4機飛来し、連日飛行訓練をし、26日2機帰投しました。28日1機帰投しましたが、1機(VK15)は調子悪いようで、動けないでいます。



写真上は通常の着陸です。

写真下はブレーキ板を立て、吸気口を上に向け、排気口を下に向けた短距離着陸モード (STOL:Short Take Off & Landing)です。



F-35 は欠陥だらけの戦闘機

2018年6月、米国会計検査院 (GAO)はF-35に966件もの未解決の欠陥があり、そのうち111件が「安全性や他の重要な性能を危険にさらしうる欠陥」としています。

2019年4月9日 航空自衛隊のF-35Aが三沢基地を離陸し、太平洋上で墜落しました。機体の欠陥が原因の可能性もあるのに防衛省は米国に配慮して、パイロットのせいにしてしまいました。2019年5月、安倍首相 (当時) はトランプ大統領 (当時) の求めに応じ、1兆2000億円の巨額支出でF-35を105機、追加購入を決めました。

この他、

2018年9月、米海兵隊のF-35Bがアメリカ東海岸サウスカロライナ州ビューフォート基地近辺で墜落、大破。

2021年11月、イギリス海軍の空母「クイーン・エリザベス」搭載のイギリス海軍のF-35Bが東地中海に墜落。

2022年11月、米海軍のF-35Cが南シナ海で作戦実施中の米空母カールビンソンへの着艦に失敗、炎に包まれ海上に落下。

2022年12月、テキサス州フォートワース基地で、米海兵隊のF-35BがSTOLモードで着陸に失敗。

大型空中給油機が多数飛来 横田基地は輸送拠点であり、空中給油の拠点

3月28日 米空軍の大型空中給油機 KC-46A が3機、KC-135R が3機飛来しました。

29日、30日、31日 とも離陸してどこかで空中給油して、帰ってきてます。

4月1日はKC-135R が8機、KC-46A が3機、KC-130J が1機離陸し、KC-135R が7機、KC-46A が1機横田基地に帰ってきました。太平洋上で、戦闘機や大型爆撃機に空中給油したようです。



オクラホマ州アルタス基地の
大型空中給油機
KC-46A
比較的新しい型
2017年発注



アリゾナ州ゴールドウォーター
基地の大型空中給油機
KC-135R
1961年発注の古い型



拝島駅に停車している 米軍ジェット燃料(JP-8)用タンク車です。ここから専用の引き込み線で横田基地内に運ばれます。なお、引き込み線の線路敷は細長い横田基地となっています。

日本石油輸送(株)の「ガソリン専用」タンクをジェット燃料輸送に使っています。ジェット燃料は発火点など灯油とほぼ同じで、ガソリンよりは扱い易くなります。横田基地では、最近、地下燃料タンクと給油スポットを増設しました。